

象牙質の形成で改善

おうちの 相談室

に神経に伝わり「しみる」という現象が起こります。また金属をかぶせた場合、元の象牙質に比べて金属の方が熱が伝わりやすいので、しみる感じも強まります。

【答え】ご質問のように、むし歯の治療後に歯がしみる場合があります。こうした痛みは、治療後に口の中の刺激が歯の神経に伝わりやすくなるために起きます。その仕組みは歯の構造と深く関係しています。

歯は、口を開けて見える上の部分（**歯冠部**）と、歯肉の下の骨に埋まっている部分（**歯根部**）に大きく分けられます。歯冠部の最表層はエナメル質という硬い組織で覆われています。その下の層には象牙質といわれる比較的軟らかい組織があり、象牙細管と呼ばれるストロー状の極細い管が、歯の深部の神経（**歯髄**）までつながっています。

治療により象牙質からむし歯の部分を取り除くと、その分だけ歯の表面と神経が近くなって、口の中の刺激がすべ

治療後に歯がしみる

【問い】むし歯の治療で歯にかぶせ物をしてもらい治療が終わりましたが、冷たいものがしみます。なぜでしょうか？
（長崎市、40歳女性）

回答者

上田 美由紀
長崎市丸山町
上田歯科医院 歯科医師



質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。